

2025 年 4 月のブルーベリー農園その 3

東広島市豊栄町のブルーベリー農園にも春が広がっている。生き物が活発で山の木々も薄緑色の葉を広げているし、ブルーベリーの葉も少しずつ芽吹いてきた。農園で

の作業は安芸区の自宅から通い、摘み取ったブルーベリーの大部分を安芸の郷に納品しているので収穫のカギを握るブルーベリーの剪定は手が抜けない。ブルーベリーの木の全体のほぼ 70%が終わったがまだ 300 本余りの剪定が残っているが、春の景色や生き物と出会うと手を休めることがつい多くなる。

4 月 18 日（金） ブルーベリーの剪定でたまった枝を野焼きする

に掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》



里山のヤマツツジが満開

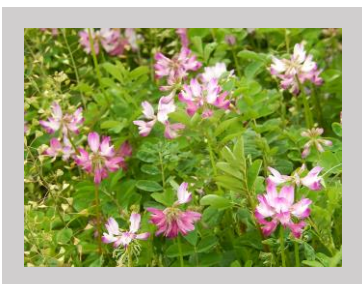
ブルーベリー畑の地べたでは野の花がいろいろ咲いている

① ヘアリーベッチ



4 月 21 日（月） 気温が 20 度を超す日が続く。クマバチが元気に飛び交う

② レンゲ



《2025 年 4 月 23 日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログ



③ スミレその1



④ スミレその2



ブルーベリー畑での剪定作業を続けるが、その間中オスのキジが時々鳴いて羽ばたきするのでキジの声のする方向を作業の手を休めて探す。冬に見かけてときはやせていたが今は筋肉がついたのか大きくたくましくなっている



キジのいた畑ののり面で、長さが約73mある電気柵が強風で倒れているのでイボダケをポールの側に立てて縛って元に戻した



剪定作業を済ませて農園の見回り

① 早生のブルーベリーの花が咲きだした。マルハナバチなどのミツバチはまだ来ない



② 里山のブルーベリー園からの眺め。桃色の花木ハナズオウの向こうに水を張った田んぼが見える。今月末から5月初めにかけて田植えが始まる季節



2025 年 4 月 23 日

社会福祉法人安芸の郷

理事長 遊川和良